

令和5年度 生駒市地域・社会活動創出支援事業（まちサポいこま）採択事業一覧

申請NO	実施主体名	事業名	地域の課題	事業概要	総事業費 (千円)	採択額 (千円)	申請コース	申請回数
1	ローカルフォトikoma	ikomaローカルフォトアカデミー	高齢化が進み、地域を支えてきた農家や商店も後継者不在で廃業するケースが多く、まちの歴史や文化、知恵の継承が途絶えつつある。また、県外就労者が多く、働き盛り世代の層が日中空洞化しているため、生駒の独自性を学ぶ機会が得られず、地域への誇りや愛着が育ちににくい実態がある。 住民と周辺地域の人々が生駒の魅力を再認識するきっかけを作り、シビックプライドの醸成と関係人口の増加に貢献することが必要だと考える。	地域住民の暮らしにまつわる伝統などの取材や、まち歩き+撮影の事業を実施し、生駒市に住む人々の暮らしを、写真や記事を通して市の内外に広く発信する。また、街の魅力を伝えるために必要な撮影・取材の実践的な講座を行い、情報発信の担い手となる地域クリエイターの育成を図る。 【対象者】地域で生活をしている住民・事業主、生駒の街とその文化的背景に関心を持つ人、ローカルフォトに興味がある人	540	200	社会課題解決コース	2回目 (令和4年度からの継続)
2	codomoney	子ども向け金融教育教室「codomoney」	金融教育の必要性は高まっているが、学校の授業の一環として、主体性をもたずに終わってしまう子どもが多いと感じる。 金融教育にとって大切なことは、子どもたち一人一人が楽しみながら、自分ごととして落とし込めることだと考えている。子どもたちが仕事について知り、自分の夢を考え、夢を叶えて自分らしく生きるための方法を「金融教育」を通して伝えていきたい。	講師による授業、イベントでの体験、YouTubeでの発信といった、実際に体験ができるセミナーを実施し、「稼ぐ」「使う」「貯める」の3つの力と、多様性の進むこれからの時代を自分らしく生きる力を養う。また、金融教育に係るカリキュラムを作成し、認定講師の育成も目指す。 【対象者】受講者（小学生）と保護者、小学校教員、真弓小学校地域、マルシェ出店希望者	644	200	社会課題解決コース	2回目 (令和4年度からの継続)
3	特定非営利活動法人 コドモオフィス	発達の偏りのある児童生徒の 余暇支援事業	通級指導教室が少なく、発達障がいを扱う医療機関も不足しているため、発達障がい児の多種多様なニーズをカバーできていないと感じる。 学童期には、仲間作りや健全な自尊感情の育成が重要であるが、そのような機会の少ない、発達障がい児が集い育つ場所を提供したい。同じ関心事を共有する集団での活動を通して、仲間と語り合うことや協力することの楽しさを経験しながら集団への帰属感をもってもらうことを目指す。	余暇支援事業としてクラブ活動を実施する。1つの趣味分野をテーマとして、強い関心を示す類似性の高いメンバーが集い、ともに活動する中で他者の視点を意識した考えや表現力を研く。また、将来の進路選択や就労に結びつくような学びの場を提供する。 【対象者】発達障がいがあり特定の対象に強い関心を持つ児童生徒	689	200	社会課題解決コース	2回目 (令和4年度からの継続)
4	特定非営利活動法人 市民活動サークル えん	ボードゲームを通じた地域の 居場所とつながりづくり	生きづらさを抱えたまま社会に出た若者が、職場や学校などの環境に馴染めず早期離職・退職し、居場所がなく引きこもりに発展してしまうケースが多々ある。 しんどい時に相談できる相手がおらず、他者との関わりに課題があると感じるため、休日の息抜きとして、友人と遊んだり悩みを分かち合ったりすることで、自身のバランスが取れ、社会とつながり続けられると考える。	引きこもりに発展してしまうケースを未然に防ぐために、ボードゲームを通じてソーシャルスキルを身に着けるとともに、新たな生きがいやチャレンジの場の提供をする。また、悩みを分かち合ったり一緒に余暇を楽しめる仲間づくりをサポートする。 【対象者】生きづらさを抱えたまま社会に出て馴染めずにしんどい思いをしている若者、ボードゲームに関心のある若者	379	100	拠点型活動支援コース	
5	特定非営利活動法人 いこま山の子会	いこま山とともっと プロジェクト	0～3歳児は出産時からコロナ禍にあり、母子ともに孤立した子育てをしてきた。その上、乳児を連れてゆっくり過ごせる環境が少ないと感じる。 同世代の子育てをしている仲間といっしょに遊び、地域と結びつきながら楽しんで子育てをしてほしい。また、幼少期から生駒山の自然に触れる体験をすると、自然への愛着が生まれ、共存できる街になっていくと考える。	生駒山をはじめ、自然の中で未就園児親子が安心して楽しく過ごせる場所を作るため、遊びの拠点となる建物を整備し環境を整える。また、親子がいっしょにのんびり過ごせる野外イベントや、小学生親子を対象としたワークショップを行う。 【対象者】未就園児親子、小学生親子	285	100	拠点型活動支援コース	
6	一般社団法人 和草	生駒市南部の農地での自然農による おとなフリースクール	学校卒業後や就労後の休職によって引きこもりがちになった人やその家族、独居高齢者など、なんらかの生き難さを感じている人は、福祉的支援が必要にならない限り支援からみれる人が一定数いる。世代別の交流が主となり、多世代が集える場が少ない。また、休耕田や耕作放棄の増加にともなう環境悪化や、里山等の生態系の変化による人家への被害も課題と感じる。	「自然農」という栽培法による農作業や収穫物の調理・加工をおこなう活動を通して、社会復帰や自立のきっかけにしようことを目指す。副次的に、活動で利用する予定の生駒市小平尾町の休耕田の活用、里山の復活にもつなげる。 【対象者】中学校卒業以上の引きこもりがちな人とその家族、高齢者で引きこもりがちな人	385	120	社会課題解決コース	1回目 (令和5年度からの継続)